

2019年度 京都造形芸術大学附属高等学校 学校経営計画（計画段階）

学校経営方針	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点
教育目標 「想像力」と「創造力」を理念とした教育活動を通じて自己効力感を育み、自己の未来に対して自信をもってチャレンジできる生徒の育成を目的とする。 1. オリジナリティを最大限に尊重する（一人ひとりを大事にする） 2. 他者を肯定する（他者と協働する） 3. 課題解決のプロセスを学ぶ（仕事の基本を学ぶ） 4. 正解のないものにチャレンジする（解答を自ら見つける姿勢を身につける） 5. 新しい価値を社会に提供する（社会をより良くするという意識をもつ）		1. 来たる授業、学校づくりの推進 ・学習のモチベーションを担保するためのコーチングとファシリテーションスキル、及び教育力の強化 ・生徒の様子を深く観察・洞察し、それぞれの意思・意図に共感した上で個々に適切な対応をする 2. 安心安全を担保するためのクラスづくり ・各クラスの担任と学校長、教頭、職員と定期的目つ細やかな共有の時間を確保する 3. 教育力向上のための体制の構築と研修の実施、教職員コンピテンシーモデルの構築、施行、実施 4. 保護者の方々との定期的な懇談会や勉強会の実施 5. プロフェッショナル科目、総合科目の充実と促進

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織運営	・学校経営方針に即した組織や体制を整え、教育力の向上を促すシステムを確立する ・通信制、通学タイプ、担任制、単位制という新しいスタイルの学校の取り組みと生徒たちの成長を発信	・学校経営計画に基づいて、教職員・分掌・教科・各クラス担当が連携し具体的な取り組みを実施することで、教育内容の充実を促進する		
		・教育力の向上のための定期的な研修を通して、学校づくり/授業づくり/人づくりにおける課題や 이슈を早い段階で発見、対応、PDCAをまわすことができる体制づくり		
		・教職員の教育力の向上を図り、個々人のオリジナリティを尊重し支援しあう（Yes,And）体制づくりの強化		
		・表現教育研究センターと連携し、セミナーやワークショップを開催する ・HPやSNSを通して学校からのメッセージ、生徒たちの成長などを常時刷新する		
教育課程の編成と実施	・単位制の特色を生かし、多様な生徒のそれぞれの能力・興味・関心、また状態に応じた幅広い科目の設置とともに各教職員の教育力（教授法・コーチング・ファシリテーションスキル）の強化	・生徒の学力や興味関心に対応できる基礎力錬成を目的とした科目、応用科目などを設置		
		・プロフェッショナル科目、総合授業の充実		
		・学習内容の定着に重点を置いたレポートづくりを学校全体で共有し、取り組む		
学習サポート	・生徒自ら主体的に学び考える力を培うことを基本とし、個々の目標の実現に向けてコーチングによって個に応じた成長行動計画を生徒と共に進めることができる ・根本的な理解の定着を第一としたレポート作成やスクーリング指導をすすめる ・個々の目標に応じた学習指導のための相談体制の充実を図る	・年度始めに面接指導（スクーリング）の時間割と内容（シラバス）、報告課題（レポート）、考査（テスト）の日時と内容を「入学者の皆さんへ(学習必携)」としてまとめ、これを活用して生徒が年間を通じて計画的に学習するよう指導する		
		・学習指導要領で定められた義務出席時間数の8倍から20倍の面接指導時間を設定し、面接指導のあらゆる場面において、生徒の多様性を尊重しながら個々に応じたきめ細かな指導ができるように心がける		
		・生徒の学習履歴や習熟度に配慮した報告課題（レポート）となる工夫と、個々の成長を促すコーチングを推進する		
		・分掌や学年、執行部会の定期的な開催により体制とシステムを確立し、そこで意見やアイデアの交換を図ることで、生徒の学習促進が行えるための検討を重ねる。		
生徒サポート	・多様な生徒が学校生活に積極的に参加していけるように援助する	・来たる（ワクワクする）学校づくり、環境づくりを推進するため、教職員全体が面接指導（スクーリング）や企画・行事の際の生徒の様子や変化を観察・洞察し、迅速目つ適切な対応を学校としておこなう ・一方的な指示命令や押し付けではなく、理論や論理的根拠を明確に伝えることで、生徒のモチベーションの向上を図り、エンパワメントを促す		
		・各活動においては、主体的に生徒自らが企画運営を行うことを支援する ・部やサークル活動においては、共通の興味や関心に基づく継続的な活動を目的に、生徒自らが声かけを行い、必要に応じて教職員が支援する ・プロジェクト型課外学習においては、成長や育成につながる活動に常にアンテナをはり参加の促進を行う。また自主的な課外学習を開催することも推進する		
キャリアプランニング	・生徒ひとりひとりの進路希望・適性・学力を的確に把握し、さまざまな機会を通して進路情報を提供し、生徒の進路保障に努める ・生徒ひとりひとりが主体的に自分の未来を考え、自らの進路の実現を主体的に取り組む姿勢を育成する。	・進路指導主事を中心に、未来の自分に対してのキャリアプランを立てる支援を行うとともに、就職や進学、留学、インターンシップなどの説明会を適宜開催する		
		・生徒向け、保護者のみなさん向けにキャリアプランニングセミナーを定期的に開催する		
心身の健康づくり	・心身の健康とレジリエンスの向上を推進する	・多様な障害（起立性調節障害、学習障害、発達障害等々）を理解した上で、個々の成長につながる心身の健康向上のセミナーやワークショップを適宜開催する ・看護師さん、カウンセラーさんと定期的に情報交換を行い、生徒の心身の健康状態を把握し、迅速で適切な対応ができるような体制づくり		
		・いじめなどの兆候や発生がないかを生徒の様子や言動から汲み取り、迅速な対応ができる体制づくり		
		・教職員の教育力と資質の向上のための研修、勉強会の実施 ・生徒、保護者向けの教育力と資質の向上のための勉強会を実施 ・教育力と資質の向上のための研究会を発足		
研究・研修	・教職員の教育力と資質の向上のための研修、勉強会の実施	・保護者会や保護者懇談会、勉強会などを定期的に開催する		
		・季刊誌Yes,Andや、校長通信などを通して、学校や生徒の様子を定期的に情報発信を行う ・学校説明会や個別相談などの充実		
家庭との連携	・生徒や学校の成長を定期的に共有	・季刊誌Yes,Andや、校長通信などを通して、学校や生徒の様子を定期的に情報発信を行う ・学校説明会や個別相談などの充実		